

4/29  
新井

## 新型コロナ

# 水際対策29日終了へ

## 政府前倒し 入国、証明書不要に

政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月8日に5類に移行するのに合わせ、同日午前0時に予定していた水際対策終了を、今月29日午前0時に前倒しする方向で調整に入った。大型連休で海外旅行客が増えるのを見込んだ措置。5類移行後、全国の病院の約9割が入院患者を受け入れる見通しであることも分かった。政府関係者が26日、明らかにした。

文部科学省が、5類移行後も感染不安を理由に学校を休んでも欠席として扱わない特例措置を継続することも関係者への取材で判明。児童生徒に基礎疾患があるなど合理的な理由があ

## 学校の欠席特例 5類後も継続

入国者につクチンを3回以上接種した証明書が、出圃前72時間以内の陰性証明書の提示を求めていたが、今月29日からは不要となる。

新たな感染症流入に備え監視を続けるため、発熱などの自覚症状がある人を対象とした任意検査「感染症ゲノムサーベイランス」を羽田、成田、中部、関西、福岡の5空港で始める。

入院対応では、病院9割のほか診療所の一部を合わせた約8400施設が患者を受け入れる。最大で約5万8千人規模。オミクロン

株流行下での最大入院者数は約5万3千人で、それを上回る受け入れ体制は確保できることになる。

現在は約3千施設で対応している。政府は3月10日、移行後の医療提供体制などの見直し案を公表。約8200施設ある大病院で入院患者の受け入れを目指し、外来診療する医療機関を現在の約4万2千施設から最大6万4千施設に増やすとの目標を掲げた。